

2016年12月5日

戦略協議会、WG、分科会、SIP 構成員・事務局各位

システム基盤技術検討会事務局

「Society 5.0」実現に向けたデータベース構築状況の調査

第5期科学技術基本計画第2章(2)「世界に先駆けた「超スマート社会」の実現(Society 5.0)」では、様々なシステムの連携協調を通じて新たな価値やサービスを産みだすことができるようにするためのプラットフォームの構築を進めることを謳っています。

システム基盤技術検討会(以下、検討会という。)では、これを受けて Society 5.0 を実現するプラットフォームに必要となる技術や取組等の具体化を進めています。特に AI 等の国として重要な基盤技術の研究開発を促進するには AI を活用するためのデータやデータベースの整備が重要であり、現在どのようなデータが活用されているか、今後必要なデータについて把握してそれらを利活用できる環境を整備していく必要があると考えています。

戦略協議会、WG、分科会、SIP(以下、戦協等という。)におかれましては会議開催しているお忙しい中での依頼となり大変恐縮ではございますが、本検討の結果は、各戦協等の今後の取組に必ずや貢献できるものと考えておりますので、何卒ご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

依頼事項

1. 戦協等で所掌するシステムのなかで、利用者の安全・安心や付加価値生産性向上等、システムの高度化を目指した核となるデータ^{※1}についてご提案ください。(これからデータを整備していく事例でも可)
※1・・・ここでのデータとは、構造化された機械可読なフォーマットで示された、文字、符号、数値などのまとまりとして表現したもので、人間にとって意味のあるものとします。(センサーデータも含む)
2. ご提案いただいたデータについては、公共データ^{※2}かどうか、またデータを公開しているか、他システムでも活用できるかどうかお知らせください。また現在公開や共有を検討中の場合にはおおよその実現時期(●●年を予定)もお知らせください。
※2・・・政府・自治体・公的研究機関が作成したデータ
3. ご提案されるデータを利活用するための課題についてもお知らせください。
4. さらに、現在システムのなかでは検討していないが他のこんなデータを使うとさらに価値が向上すると思われるデータについても、ありましたらご提案ください。

ご提案は、別紙1の記載例を参考に記載いただき、末尾連絡先にメールにてご提出ください。

上記依頼については、戦協等の構成員にメール等にて任意で提案を依頼いた

だき、ご回答をシステム基盤技術検討会事務局まで回付いただけますよう、よろしく願います。(各戦略協議会、WG、分科会、SIP事務局にて回答を取りまとめて頂く必要はありません。個人のお立場でご提出いただいても結構でございます。)

提出は、2016年12月20日(火) 17:00迄に願います。

今後の予定

- ・ 12月20日(火) 17:00 提案提出〆切
- ・ **12月27日(火) 14:00-16:00 第8回検討会**
 - 提案されたデータの紹介、重要なデータ、連携すべき分野の特定

(12月27日(金) ~2月6日(月)
絞り込んだデータに対して詳細を事務局でヒアリング)

- ・ **2月17日(金) 10:00-12:00 第9回検討会**
 - 複数のシステムで活用可能なデータの抽出
 - データ利活用に向けた課題の抽出、推進体制の明確化
- ・ **3月XX日 第10回検討会**
 - 総合戦略2017に向けたとりまとめ

以上

記載例 1

(別紙 1)

想定するシステム	おもてなしシステム
システムの高度化につながるデータ、もしくはデータベース	街中の監視カメラ情報、店舗の監視カメラ情報、駅の監視カメラ情報、工場内の監視カメラ情報
データの活用事例 (どんな価値が得られるか)	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な監視カメラの情報を統合して、混雑状況を把握することで最適な移動手段を提案することで利用者の利便性向上 ・店舗内の監視カメラ情報を活用して、売れ筋商品の把握し販売計画に反映 ・工場内の監視カメラ情報を活用して効率的な動線による生産性向上
公共データかどうか、また公共データの場合にデータを保有している組織または部署	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラ等を設置した組織で個々に管理されている。「設置した組織」は民間が多くを占めるが、公的機関の場合もある。
データの公開や他システムとのデータ共有を考えているか (いつごろからかがわかれば、その時期も記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・広く一般社会で活用できるような仕組みを検討中
(公開、共有できない場合) その理由について	
備考 (データを利活用する仕組みの構築における課題、使いたい他システムのデータ、など)	<ul style="list-style-type: none"> ・著作権的に保護されるべきオブジェクトの写りこみ ・個人情報に配慮した統計処理 (メタデータ化) や匿名化 ・オプトインしなかった人のパーソナルデータの取り扱い方法 ・オプトアウトで、パーソナルデータの消去要望の取扱い方法

(別紙 1)

想定するシステム	
システムの高度化につながるデータ、もしくはデータベース	
データの活用事例 (どんな価値が得られるか)	
公共データかどうか、また公共データの場合にデータを保有している組織または部署	
データの公開や他システムとのデータ共有を考えているか (いつごろからかがわかれば、その時期も記入)	
(公開、共有できない場合) その理由について	
備考 (データを利活用する仕組みの構築における課題、使いたい他システムのデータ、など)	